

CONTENTS

Articles

- The Five Mindful Practices in T'an-Luan's
——Commentary on Vasubandhu's Discourse on the Pure Land——
..... Takuya Tsukazaki (Otani-ha) 1
- “Shōki & Shuki” ——The True Buddha with Land & Buddha-Nature ——
..... Shigenobu Inoue (Otani-ha) 21
- Ryūkan, Shōku, and Jōben: How Three of Hōnen's Disciples Interpreted the Teachings
of Exclusive Practice (*senju*) and Sundry Practices (*zasshu*)
..... Kazuo Nasu (Hongwanji-ha) 42
- Inner Diversity of Shinran
..... Nobuo Nomura (Kyoto Women's University) 63
- Tannishō* and Kakunyo's Teachings
..... Tomoyasu Hayashi (Ryukoku University) 80
- On the 'Ōjō-den' and 'Myōkōnin-den'
——A study on the Occasion of the Discovery of the 'Ishin-Ōjō-den'
..... Akimichi Kikufuji (Hongwanji-ha) 98
- The Spread of Shin Buddhism in the Seto Inland Sea Area
——The Case of Suō and Nagato provinces——
..... Hirotsugu Ōhata (Otani University) 120
- The Historical Understanding of a Shin Buddhism Priest in the Sengoku Period
——from 山科御坊事并其時代事 to 本願寺作法之次第——
..... Wataru Andō (Doho University) 151
- The Significance of the Newly Discovered Old Manuscript of the
“Mikawa Nenbutsu Soujyou Nikki” Fumihito Andō (Takada-ha) 173
- A Thought on “Jōgen no Hōnan” ——Its Origin and Background——
..... Hōyū Imada (Hongwanji-ha) 193
- The Problem of Shinto-Buddhist Relationship under the Total War Regime
and the Constitution of Hongwanji-ha
..... Tesshin Akamatsu (Ryukoku University) 204
- Shinran Thought and the Japan Sea
..... Takehiko Furuta 235
- Special Lecture**
A History of the Semicentennial Anniversaries of Shinran's Passing
Considered as Calling and Responding
..... Hitoshi Ōkuwa 255
- Announcements** 291

真宗連合学会規約

第一条 (名称) 本会は真宗連合学会と称する。

第二条 (目的) 本会は真宗に関係ある學術の研究發達を図るをもつて目的とする。
(事業) 本会は前条の目的を達するために左の事業を行う。

一、大会(年一回)

二、学会誌の發行

三、その他必要な事業

第四条 (会員) 真宗に関係ある學術団体、及び研究者並びに本会の趣旨に賛同するものをもつて会員とする。会員は別に定める会費を納めるものとする。

第五条 (役員) 本会には左の役員をおく。

一、理事長 一名 理事中より互選し、本会を代表して会務を統理する。
二、理事 若干名 評議員中より互選し、会務(査読の業務も含む)を処理する。

三、評議員 若干名 会員より選出する。

役員任期は二年とする。但し重任を妨げない。

第六条 (顧問・参与) 本会に顧問及び参与をおく。顧問及び参与は評議員の会議において推挙する。

第七条 (経費) 本会の経費は会費及び助成金その他の収入による。

第八条 (年度) 本会の年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。

第九条 (事務所) 本会の事務所は、次の所より理事会の議を経て決定し、二年ごとに事務を担当する。

龍谷大学(京都市下京区七条通大宮東入大工町一・二五・二)

大谷大学(京都市北区小山上総町二二)

高田学会(三重県津市一身田町豊野一九五)

同朋大学(名古屋市中村区稲葉地町七・二)

京都女子大学(京都市東山区今熊野北日吉町三五)

第十条 (規約の変更) 規約の変更は評議員の会議に附し、大会の承認を受けることを要する。

附則① この規約は昭和二十九年十一月十四日より実施する。

② 平成六年六月三日一部改正。

③ 平成十五年六月六日一部改正。

④ 平成十六年六月四日一部改正。

平成20年3月20日 印刷
平成20年3月30日 発行

真宗研究・第五十二輯

印刷所 (有)プラネット・ユウ

〒615-0065 京都市石山区西院日照町106番地
アプスビル2階

発売所 (株)平樂寺書店

〒604-8691 京都市中京区東洞院三条上

TEL 075-221-0016

FAX 075-221-0169

兼 集 者 真 宗 連 合 学 会
代 表 者 安 富 信 哉
〒603-8143 京都市北区小山上総町
大谷大学内
TEL 075-432-3131
発 行 所 真 宗 連 合 学 会

**THE
SHINSHU KENKYU**

JOURNAL

OF

SHINSHU STUDIES

No. 52 MARCH 2008

Published by

SHINSHU RENGOU GAKKAI

The Research Association of Shinshu Studies

Kyoto Japan